

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年03月27日

計画の名称	和歌山市狭あい道路整備事業 ~誰もが安心・安全で快適に住み続けられるまちづくり~													
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	和歌山市													
計画の目標	幅員4m未満の狭あい道路の拡幅・整備を促進することにより、災害時の防災機能の向上及び住環境の改善を図り、安心・安全で快適なまちづくりを目指す													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		6	A	6	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R03当初)	中間目標値	最終目標値 (R07末)
1	和歌山市内の全域において、狭あい道路の拡幅整備を行う 計画期間中における和歌山市狭あい道路整備事業(舗装に対する補助金交付)の実施箇所数	0箇所	箇所	120箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																					
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												R03	R04	R05	R06	R07					
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	和歌山市	間接	和歌山市	-	-	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路拡幅整備(市内全域)	和歌山市							6	-		
												小計							6		
												合計								6	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
担当事業課にて数値目標の達成状況および効果の発現状況について事後評価を行った。	令和8年3月
	公表の方法
	ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	94件の狭あい道路の拡幅・整備が確実に実施されたことで、局所的ではあるが安心・安全な空間の確保に繋がった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	本制度の案内や実際の補助活用を通じて、沿道住民に対して狭あい道路の抱える課題や、セットバックの必要性に関する意識啓発を図ることができた。
特記事項（今後の方針等）	
近年の材料費及び労務費の上昇に伴い舗装工事費が高騰していることを受け、狭あい道路の拡幅・整備促進のため、面積1平方メートル当たりの補助金額の増額を行う。	

